

経営比較分析表（令和4年度決算）

福岡県 志免町

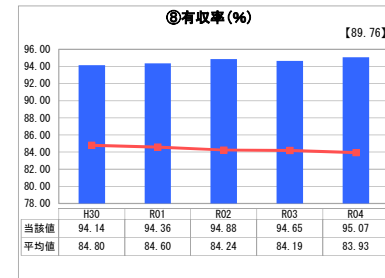
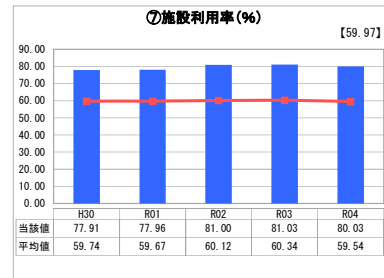
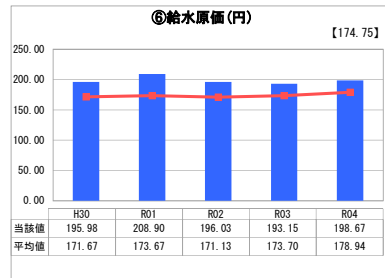
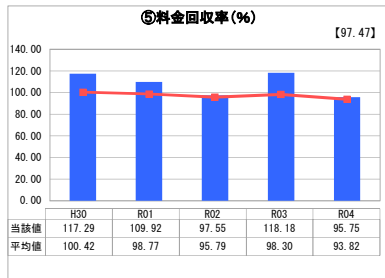
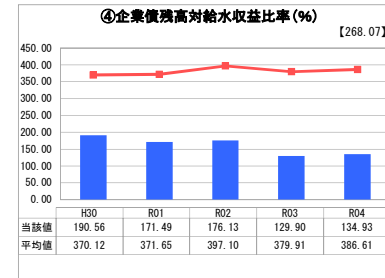
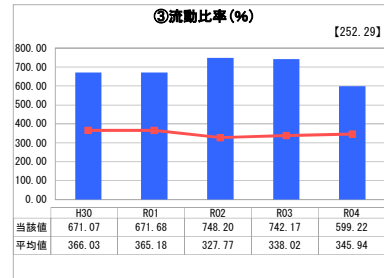
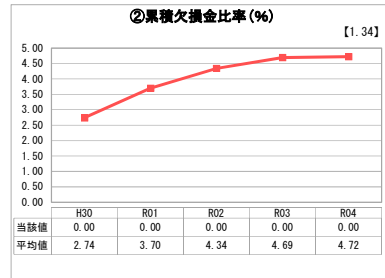
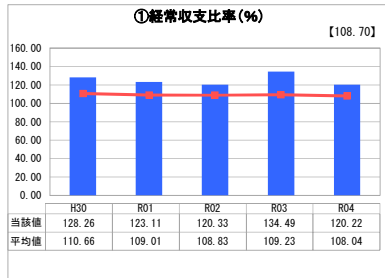
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)	
-	86.61	99.68	3,938	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
46,560	8.69	5,357.88
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
46,395	8.69	5,338.90

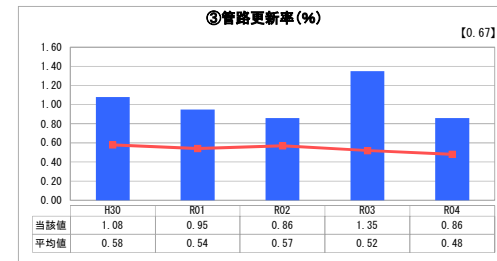
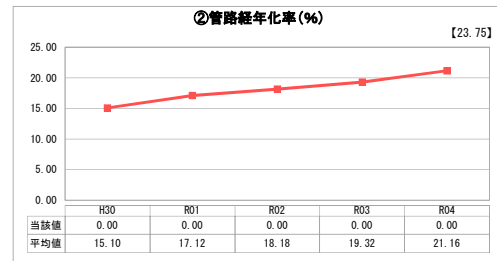
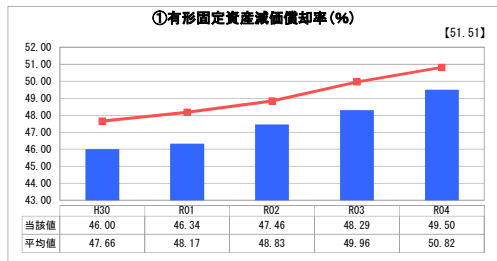
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

志免町の水道事業経営においては、毎年純利益が発生しているため健全な経営状況である。

- ①経常収支比率は、当期の経営活動による収入で費用を賚えているかの指標で、黒字水準とされている100%を大きく上回っており、健全な状態である。
- ②累積欠損金はない。
- ③流動比率は、短期的な支払能力を表す指標で、類似団体より良い状態である。
- ④企業債残高対事業規模比率は、給水収益に対する企業債残高の割合で、自主財源で計画的に更新工事を進めており、企業債残高は年々減少しているため、類似団体に比べ低くなっている。
- ⑤料金回収率は、経費を給水収益でどの程度賚えているかを表す指標で、新型コロナウイルスの経済支援として、水道料金2か月分を減免しなければ100%を超えている。
- ⑥給水原価は、有収水量1㎡当たりの給水に要した費用で、福岡地区水道企業団からの受水費や維持管理等の費用が大きく、類似団体を上回っており、引き続き費用削減に努める。
- ⑦施設利用率は、施設の処理能力に対する処理水量の割合、⑧有収率は、総給水量に対する有収水量の割合で、どちらも類似団体を超過している。施設の稼働状況が適切に収益に反映されていることから、経営の効率性は高いものと考えられる。

2. 老朽化の状況について

志免町の水道管・水道施設について毎年計画的に更新を行っているため、著しい管路の老朽化や早急に検討すべき課題はみられない。

- ①有形固定資産減価償却率は、減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、類似団体平均値と概ね同様の増加傾向となっている。
- ②管路経年率は、法定耐用年数（40年）を超えた管路延長の割合で、耐用年数を超えたものはない。
- ③管路更新率は、当該年度に更新した管路延長の割合で、類似団体平均値を上回っており、早いペースで管路更新が行われている。

全体総括

令和4年度は、新型コロナウイルスの経済支援として、水道料金2か月分を減免したため「⑤料金回収率」が100%を下回ったが、「①経常収支比率」は良好で、「②累積欠損金」もないことから、現在のところ健全な経営状況と考えられる。また、今後は給水収益の大幅な増額は見込まず、管路や水道施設の更新費用が増加していくことが予測されるため、令和2年度に策定した経営戦略を基に、今後も経営の健全維持及び更なる効率化に努める。